



白洲灯台150周年行事に併せ 折尾高校の生徒の皆さんが 「白洲灯台のパウンドケーキ」を制作・販売!!

白洲灯台記念イベントに併せ、折尾高校生活デザイン科食物コースの生徒の皆さんが、「白洲灯台」をイメージした「パウンドケーキ」を作ってくれました。

制作には、折尾高校の先生その他、岡垣町所在の「ぶどうの樹」（レストラン）のシェフが指導に当たられ、「かなり美味しい!」との評価を受けたそうです。

このパウンドケーキは、7月30日（日）、「白洲灯台フェスin博物館」を開催した「いのちのたび博物館」にて販売されました。

販売個数は僅かに100個。入手困難な超貴重な商品となりました。

さらには生徒さんによる「笑顔」の販売は、商品を受け取ったお客様も笑顔にして、とても満足されたのではないのでしょうか。まさに「プライスレス」な商品ですね。（*^_^*）

生徒さんは、この「パウンドケーキ」の制作について、「YOU TUBE」と「Instagram」に投稿されています。一度、閲覧されてはいかがでしょうか。

折尾高校生活デザイン科食物コースの生徒の皆さん、白洲灯台記念イベントと一緒に盛り上げてくれてありがとうございました。そして、これにご協力して頂いた教員の皆様、「ぶどうの樹」の皆様及び関係者の皆様にこの場を借りて、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



折尾高校生活デザイン科食物コース_生徒の皆さん



当部職員との集合写真





入 賞 作 品 灯台に関する俳句コンテスト

白洲灯台の150周年を記念して、若松海上保安部では、小中高生を対象に「灯台に関する俳句コンテスト」を開催しました。

応募総数はなんと405作品となりました。

たくさんの応募、ありがとうございました。

その中から優秀な作品を選出させていただきました。

作品の選出に当たっては、俳句に詳しい博物館の有識者の方に選んでいただきました。

入賞作品は、次のとおりです。

○若松海上保安部長賞_小中高生から各1作品を選出

○入選作品_5作品

○多くの作品を投稿して頂いた学校へ「学校賞」_北九州市立洞北中学校

_北九州市立向洋中学校 2校

若松海上保安部長賞を受賞した生徒の皆様には、7月30日（日）に「いのちのたび博物館」で表彰させていただきました。記念品も贈呈しております。



若松海上保安部長賞の作品

小学生の部 だいすきな とうだいたちと まんげつは

中学生の部 夏空に 白黒映える 灯台や

高校生の部 凍てる海 照らす光の 暖かさ

若松海上保安部長



北九州市立洞北中学校
校長先生へ「学校賞」を
授与させていただきました。



受賞された生徒の皆様と海上保安友の会の皆さんを
入れて記念撮影をしました。



夏休みを前に水難事故防止活動を実施

海の安全教室



7月15日（土）、大谷小学校PTAから依頼を受けて、海浜における水難事故防止を目的とした「海の安全教室」を実施しました。

大谷小学校の6年生の皆さん、先生及び保護者の皆さん計79名の方に参加していただきました。教室では、救命胴衣の正しい装着方法や「浮くっちゃんボトル」の浮具を利用した救助方法等を体験していただきました。児童の皆さんも保護者の方も海辺での安全意識が向上したのではないかと思います。

海で遊ぶ時は皆さん、十分に注意してくださいね。



浮くっちゃんボトル



溺れている人を見かけた際、身の周りに浮き輪などの浮く物がない場合には、飲みかけのペットボトルなどでも十分な浮力を得ることができます。

ペットボトルのような軽い物でも、少量の水を入れることで、遠投することもできます。

この「浮くっちゃんボトル」は、若松海上保安部が考案したものです。

警察と合同パトロール



7月22日（土）、若松警察署と合同で管内の海水浴場をパトロールしました。啓発グッズも配布しました。

海上安全指導員との合同パトロール



同22日（土）、海上安全指導員の方とも、一緒に芦屋海水浴場を合同でパトロールしました。



きつい訓練、頑張っています！



航空自衛隊 芦屋基地と合同訓練を実施！



芦屋救難隊の隊員

UH-60J



巡視艇たかかぜ甲板上からの
吊り上げ救助訓練

芦屋救難隊隊員



海上保安官

芦屋救難隊隊員

要救助者の引継ぎ訓練

6月20日（火）、航空自衛隊芦屋救難隊と合同で、「行方不明者の捜索」、「要救助者の引継ぎ」を想定した訓練を実施しました。

芦屋救難隊のヘリ（UH-60J）による吊り上げ救助訓練等、海難現場における迅速・的確な対応に繋がる訓練でした。今後も連携強化に努めてまいります。



北九州市立八幡病院との合同訓練

情報伝達訓練



離発着訓練



搬送訓練

7月4日（火）、実際の海難を想定して北九州市立八幡病院と合同訓練を実施しました。訓練は傷病者受け入れに関する情報伝達訓練、当庁ヘリが八幡病院のヘリポートに離発着する訓練及び傷病者の迅速な引継ぎを行う搬送訓練を実施しました。

若松海上保安部職員は搬送訓練に参加、海難救助の専門家「機動救難士」も参加しました。今回の訓練で八幡病院との連携強化を図ることができました。



YOU TUBEに掲載しています！



きつい訓練、頑張っています!_その2

要救助者救助状況



えい曳救助状況



要救助者心肺蘇生訓練

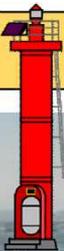


空気呼吸器脱着訓練



若松海上保安部は、船舶事故や海浜事故等に備え、日頃から各種訓練に励み、職員のスキル向上に取り組んでいます。

今後も高い救助技術を身に付けるために訓練に励み、万が一の事故に備えてまいります。



灯浮標への移乗訓練



5月下旬、管内の灯浮標等の航路標識の点検や故障した場合を想定して、巡視艇の接舷訓練と職員の移乗訓練を実施しました。

安全に作業ができるように今後も務めてまいります。





夢 授 業 に 参 加 ！

北九州キャリア教育研究会が小中高校へ提供している「夢授業」に若松海上保安部も参加しています。

子供達を前に、海上保安庁という職場、海上保安官という職業、仕事のやりがい等について、**熱く**語ってきました～！（^^♪

これまで6校を訪れていますが、まだまだ、たくさんの学校を訪問させて頂くことができそうです。

将来、海上保安官を目指そうとしている生徒さんもいるはず！

これからも**海上保安庁の魅力**を発信していきたいと思えます。



生徒の皆さんに業務について説明している状況です。理解してくれてるかな・・・？

学 生 募 集 活 動

陸、海、空、さまざまなフィールドで活躍できる**海上保安庁**。

優秀な学生を獲得すべく、本年度も学生募集活動に励んでいます。

管内の高校及び大学を訪問して入校案内等の説明のほか、JR駅構内やショッピングモール等へのポスター掲示にも精力的に取り組みました。

ご協力いただいた関係者の皆様、ありがとうございました。

折尾駅



北九州市立高校



北九州市立大学





海上保安官募集



海上保安大学校_採用試験日程_2023年度

試験名	受付期間 (受験案内HP掲載日)	第1次試験日	第1次試験 合格者発表	第2次試験日	最終合格者 発表
海上保安大学校 学生採用試験 海上保安大学校(本科)	8/24(木) ~9/4(月) (6/14(水))	10/28(土) および 10/29(日)	12/8(金)	12/15 (金)	2024/1/18 (木)
海上保安官 採用試験 海上保安大学校 (初任科)	3/1(水) ~3/20(月) (2/1(水))	6/4(日)	7/5(水)	7/11(火) ~ 7/19(水)	8/15(火)



海上保安学校_採用試験日程_2023年度



試験名	受付期間 (受験案内HP掲載日)	第1次 試験日	第1次 試験 合格者 発表	第2次試験日	最終 合格者 発表	
海上保安学校学生 採用試験(4月期)	船舶運航システム課程	7/18(火) ~7/27(木) (6/14(水))	9/24 (日)	10/11 (水)	10/17(火) ~10/26(木)	11/21 (火)
	情報システム課程					
	管制課程					
	海洋科学課程					
航空課程				10/17(火) ~10/26 発表: 11/21(火)	2024/ 1/18 (木)	
			第3次試験日 12/2(土) ~12/12(火)			
海上保安学校学生 採用試験(特別)(10月期) 船舶運航システム課程のみ	3/1(水)~3/8(水) (2/1(水))	5/14 (日)	6/2 (金)	6/7(水) ~ 6/28(水)	7/28 (金)	

海上保安官採用サイト



巡視艇基地

本年度も若松海上保安部は、海上保安官募集活動を積極的に取り組んでまいります。友の会会員の皆様におかれましても海上保安官募集活動にご理解を賜り、ご協力をいただければ幸いです。

海上保安庁の教育機関

海上保安大学校は、海上保安庁の幹部職員を養成する教育機関です。広島県呉市にあります。海上保安学校は、現場業務に即応できる海上保安官を育成する教育機関です。京都府舞鶴市にあります。



編集後記

7月29日（土）、「くきのうみ花火の祭典」が開催されました。

新型コロナ禍等の影響を受けて4年ぶりの開催でしたが、来場者は約30万人と言われており、多くの方が花火を見に来られたようです。

久しぶりにもの凄い人出を見て、コロナ禍前の日常が戻ってきていることを皆様も実感されたのではないのでしょうか。

この花火の祭典、洞海湾のど真ん中に台船を浮かべ、その船上からも花火を打ち上げるのです。洞海湾を行き交う船舶も止めて行われます。

なので、若松海上保安部では、この花火の祭典を開催している間、巡視艇を複数隻、現場海域に配備させ、花火を観覧する小型船舶の安全や観覧客の海中転落を未然に防止するために呼びかけたり、或いは海中転落した場合に備え、迅速に救助できるように警戒しています。



花火の打ち上げが終わると、観覧客が一斉に家路につくため若松渡船に向かって、長い列をつくります。

「きれいだったね〜!」という声が、そこかしこから、聞こえてきます。

ジャズ音楽に併せて打ち上がる花火は鮮やかで素敵でしたよね。

警戒が終わり、若松の街が静まり返ったころ、職員も家路につきます。

帰り際、警戒を担当していた警備救難課、航行安全課の皆に声を掛けていきます。



「事故が無くてよかったね〜! お疲れさまでした〜!」

引き続き、若松海上保安部は、海上の安全・治安の確保に務めてまいります。

若松海上保安部 次長 鈴木直之



※ 若松海上保安部ホームページは、随時、更新しています。
今後も、ホームページを通して若松の海に関する様々な情報を発信します。



発行：若松海上保安部
〒808-0034
若松区本町1丁目14番12号
電話 093-761-2497



若松海上保安部HP